

技術職員コンソーシアム(TAMARIBA) ・ 大学技術職員組織研究会
合同イベント
～大学型研究 DX の最前線 - 各分野の現状と未来を探る～

1. 開催概要

Society 5.0 時代において、研究 DX は科学技術イノベーションを加速させるための必須要素です。研究基盤・データ管理、セキュリティ対策、研究者教育など、技術職員は研究 DX 推進の中核を担う存在として、その能力向上と情報共有は喫緊の課題となっています。

本イベントは、全国の技術職員を対象に、研究 DX の様々な分野における最先端の活用事例を共有する場を提供します。

1 日目は、Tech-Link とシンポジウムを実施します。

Tech-Link とは、ナレッジシェアリングの技術職員版で、各自が持つ技術やノウハウを共有する場です。またその後のシンポジウムでは、研究 DX の取り組み事例を中心に情報共有を行います。多分野にわたる実践的な事例を通して、技術職員のスキルアップとネットワーク構築を支援し、研究 DX への理解を深め、Society 5.0 時代における研究推進に貢献しましょう。

2 日目は、異分野理解に関するグループワークを実施します。

当たり前は人によって違います。また技術職員は幅広い業務を受け持っているため、前提となる知識や業務の流儀がまったく異なることがあります。そのため、「異分野」であることが原因で意見の食い違いが生まれ、トラブルになる可能性もあります。

こうした「異分野間コミュニケーション」について、ワークショップスタイルで、学び・分析を行い、意見の食い違いが起きた時に、相手を尊重しながら自分の考えや気持ち、権利について適切に主張して解決を目指せるようになりましょう。また、自分の考えを、まったく違う常識を持つ人たちに伝えることができるようになりましょう。

2. 開催日時：2025 年 9 月 25 日（木）～26 日（金）

開催形式：現地・オンライン（ZOOM）ハイブリッド

現地：大阪大学豊中キャンパス

WEB：ZOOM（定員 300 名）

プログラム：

9 月 25 日（木）

豊中共創棟 B2 階 プレゼンテーションスペース

11：30 開場（受付・配信開始）

Tech-Link

12：00～12：05 概要説明

北海道大学 木村 悟 技術専門職員

12：05～12：45 発表・質疑応答

12：45～12：50 クローズ

琉球大学 勢理客 勝則 シニアマネージャー

シンポジウム

13 : 30～13:35 開催挨拶

大阪大学 稲角 直也 技術専門職員

13 : 35～14 : 25 講演 1

「グローバルモモンズを意識した環境・材料 DX の始動」

理化学研究所 菊池 淳 チームリーダー

14 : 25～15 : 15 講演 2

「電子ラボノートおよびロボットアームを活用した研究 DX の取組み」

奈良先端科学技術大学院大学 高須賀 聖五 助教

15 : 15～15 : 25 休憩

15 : 25～16 : 15 講演 3

「北大農場におけるスマート農業の教育研究基盤の構築」

北海道大学 佐藤 浩幸 特命職

16 : 15～17 : 05 講演 4

「実験研究が変わる ― 計測を核とした研究 DX 時代のデータ知識化基盤」

理化学研究所 小林 紀郎 ユニットリーダー

9 月 26 日（金）：現地開催のみ

理学研究科 E 棟 210 講義室

異分野間コミュニケーション

大阪大学 松岡里奈 特任講師

10 : 30～12 : 00 異分野間コミュニケーション①

12 : 00～13 : 30 昼食

13 : 30～15 : 00 異分野間コミュニケーション②

15 : 00～15 : 10 休憩

15 : 10～16 : 10 異分野間コミュニケーション③

16 : 10～16 : 15 閉会の挨拶

浜松医科大学 佐々木 健 副技術部長

3. 共同主催

研究基盤協議会「共創の場」委員会 技術職員コンソーシアム

大学技術職員組織研究会

大阪大学理学研究科技術部

大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク

4. 後援

大阪大学コアファシリティ機構

大阪大学接合科学研究所技術部

5. 協力

大阪大学日本語日本文化教育センター・異文化間コミュニケーション涵養教材開発 PT